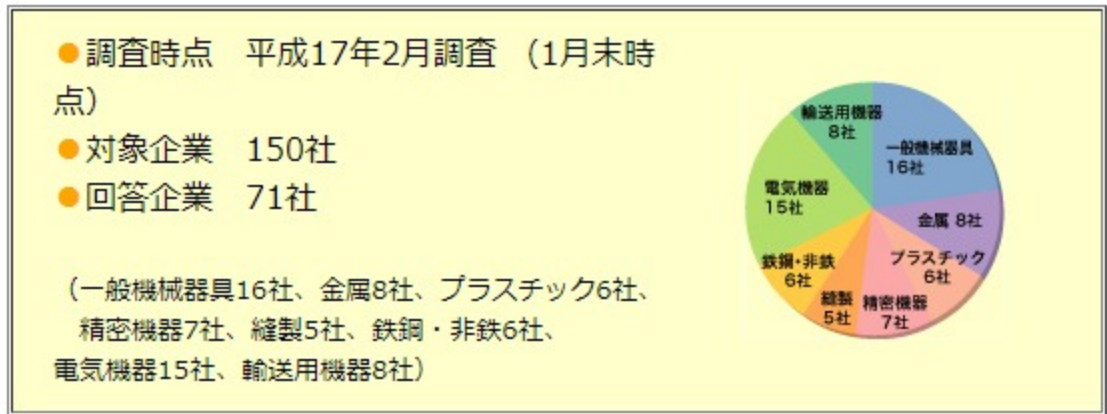


2005.1



生産高の3か月前比はマイナスに転じ、前年同月比で若干のプラスではあるものの、前回調査結果（11月末時点）よりも数値は大幅に低下している。しかし、3か月先見通しについては、前回の横ばい状態からプラスに転じており、多少の明るさは見られるものの、外注見通しは依然としてマイナスであり、受注企業への影響が懸念される。

● **生産高** 3か月前比の生産高において、前回調査結果でプラスであった「金属」「鉄鋼・非鉄」もマイナスとなり、「輸送用機器」のみが引き続き良好な結果を残している。また、他業種の結果についても、前回よりさらに悪化傾向にあり、より鮮明に生産高の減速が感じられる数値となって表れている。

● **3か月先見通し** 3か月前比生産高ではマイナスであった「プラスチック」「鉄鋼・非鉄」が、3か月先見通しについてはプラスとなっており、また、「輸送用機器」は引き続きプラスの見通しとなっている。その他マイナスの結果である各業種においても、前回調査結果よりは数値的に良化傾向が見られる。

● **外注見通し** 「鉄鋼・非鉄」の若干のプラス、その他全業種でマイナスとなっており、外注に対する見通しは、前回から引き続き厳しい状況が予想されている。

